

# あいのり

## Monthly

2025.1.31

### 1月のマーケット概要

1月は今後方向性のヒントになると思われる事象・イベントが見受けられましたので注目点と考えを以下まとめてみました。

#### 1. 引き続きインフレ再燃（長期金利上昇）が米株式相場の懸念材料

中旬に発表された米コアCPIが前月対比僅かに低下したことが米長期金利の低下とそれまで下落していた米株式市場並びに一部新興国株の大幅上昇のきっかけとなりました。今後もインフレに係るデータ・長期金利には大きく反応するものと考えます。

#### 2. トランプ大統領の政策発動とゴールドの動きが意味するもの

米国第一主義を掲げるトランプ大統領が就任し、マーケットは、特に関税に関する発言に揺り動かされています。一方で就任日翌日からゴールドが大きく上昇し始め現在史上最高値を更新中です。これはトランプが人・モノ・カネを米国に集中する政策に対して、その反対に米国債の信認低下・財政不安などから基軸通貨の米ドル以外へも資金が向かい始めているか注目しています。

#### 3. 主要中銀のまちまちな政策スタンス

主要3中銀の金融政策の発表がありました。各々スタンスの違いが見えましたが中期的には何れ一方向へ向かい始めると考えます。

日銀：金融政策決定会合では、インフレに対応すべく政策金利を0.25%引き上げ、0.5%とした上、今後更に引き上げる方向性を示しました。

米FOMC：金融政策の変更はなく、現状バランスのとれたインフレ・金利環境であることや、今後はトランプの政策である関税・財政政策・移民・規制緩和などの政策による経済への影響を見極めるというスタンスを述べました。

ECB：4会合連続で政策金利を0.25%引き下げ、2.9%とし、次回も引き下げの公算が大きい状況です。欧州では政策金利が更に引き下げ方向に加え、ドイツ・フランスなどの長期金利も低下していることから、株式市場は1月大幅高となり、独DAX指数などは史上最高値を更新しております。

#### 4. 生成AIの開発競争激化・スピードアップと急速な需要拡大

中国のスタートアップDeepSeekが低コストでトップクラスのAIモデルを構築していたことが話題になり、最先端半導体メーカーNVIDIAなどのAI銘柄は一時的に株価が大きく売られました。しかしこれは一方で、AI開発が低コストでも可能ということが認識されたことによる競争激化や開発期間が縮むと同時に、今まで以上にAIが身近なものとして需要が急拡大することになるとみています。

今後これら事象がどのように変化し、マーケットに影響を与えていくかを注視していきたいと考えます。

※X（旧ツイッター）にも日頃のコメント（つぶやき）を掲載しておりますのでご参照いただければと思います。

パリミキアセットマネジメント  
ファンドマネージャー  
宇野 隆一郎



# コモファンド

変幻自在ずーっとおまかせ

## 【1月の運用コメント】

基準価額は月間で+0.69%となりました。

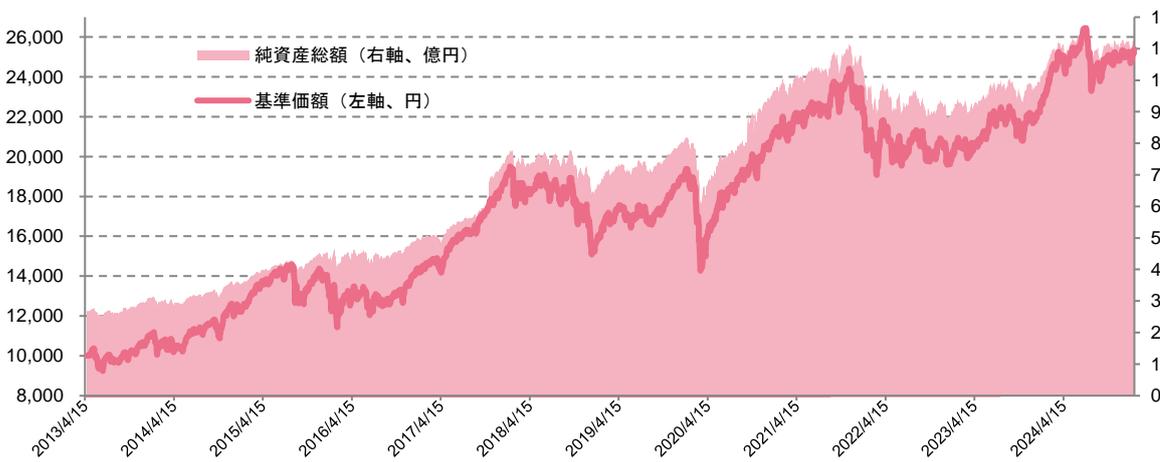
上昇に大きく寄与したのはニッポングローブ（騰落率3.73%）、モーラント・ライト・フジ・イールド（同+2.13%）、ピクテ・ゴールド（同+6.06%）などでした。一方、下落寄与が大きかったのはチカラ・インディアン・サブコンティネント（騰落率▲8.11%）、SBIジェイリバイブ（同▲2.03%）などでした。

1月はピクテ・ゴールドを追加し、また東欧株式ファンドのトリゴン・ニュー・ヨーロッパなどを追加しました。一方売却は、ナスダック100、日経平均などのETFを中心に売却しました。キャッシュ比率は前月から殆ど変化なく約12%となっています。

日本円が対ドルで約4円（2.4%）の円高、対ユーロで約4円（2.8%）円高に推移したことによるポートフォリオを約0.7%引き下げたこととなります。

月末時点の外貨資産リスク（38%）に対する為替ヘッジ率は36%で、全体のポートフォリオの内、ヘッジ後の外貨リスクは約25%となっています。

## 基準価額と純資産総額の推移



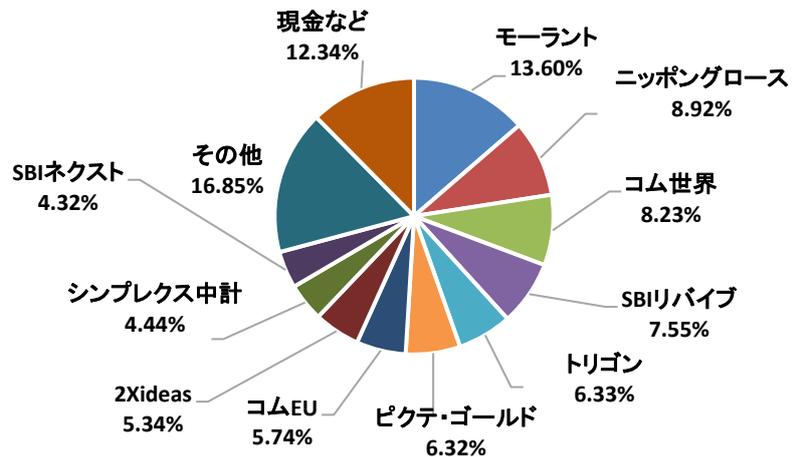
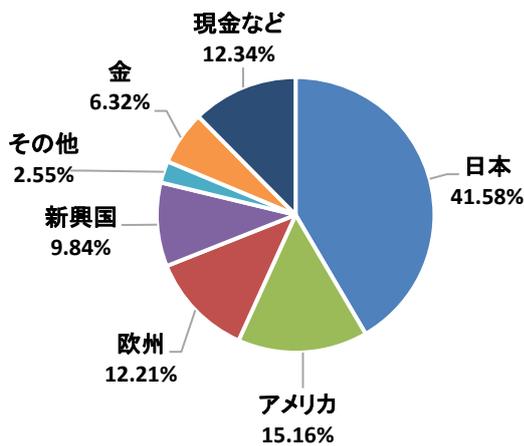
## 組み入れファンドTOP5 基準価額の前月比

モーラント	2.13%
ニッポングローブ	3.73%
コムジェスト世界	0.51%
SBIリバイブ	-2.03%
トリゴン	1.88%

## コモファンド概況

基準価額	25,392円	信託期間	無期限
純資産総額	11,323百万円	決算日	毎年2月25日（休業日の場合は翌営業日）
設定日	2013年4月15日	ボラティリティ(1年)	8.88%

## 資産構成比率（組入ファンド全20本）（左：国別、右：ファンド別）



## 期間別騰落率(%)

1ヵ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	10年	設定来
0.69%	1.59%	0.93%	9.58%	24.69%	36.99%	102.49%	153.92%
					(複利年率)	(複利年率)	(複利年率)
					(6.49%)	(7.30%)	(8.21%)

## ファンドにかかわる費用

運用管理費用  
(信託報酬)

年率1.10%(税抜き1.0%)

組入れ投資信託証券も含めた実質的な負担 年率1.75±0.5%(税込/概算)

# 浪花おふくろファンド

## じっくりどっしり長期運用

### 【1月の運用コメント】

基準価額は月間で▲0.44%となりました。

上昇の寄与度が高かったのは、コムジェスト・ヨーロッパ（騰落率+3.46%）、コムジェスト世界株式（同+0.51%）などでした。また下落に寄与したファンドはSBIジェイリバイブ（騰落率▲2.03%）、シンプレックス中計（同▲1.06%）でした。

1月の売買では新興国のファンドの入れ換えで、東欧株式ファンドのトリゴン・ニュー・ヨーロッパを新規購入しました（ファンドへの計上は2月から）。一方、ナスダック100、日経平均などのETFを売却しました。キャッシュ比率は前月比と4%増の12.71%です。

円高に推移したことにより、ポートフォリオを約1.1%引き下げたこととなります。月末時点の外貨資産リスク（47%）に対する為替ヘッジ率は9%で、全体のポートフォリオの内、外貨リスクは約43%となっています。

### 基準価額と純資産総額の推移

#### 組み入れファンドTOP5 基準価額の前月比

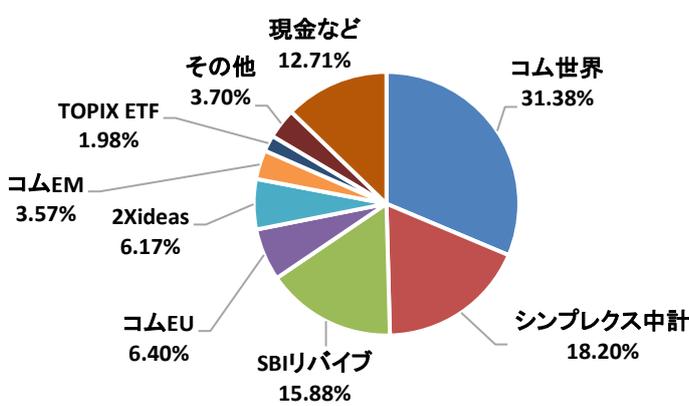
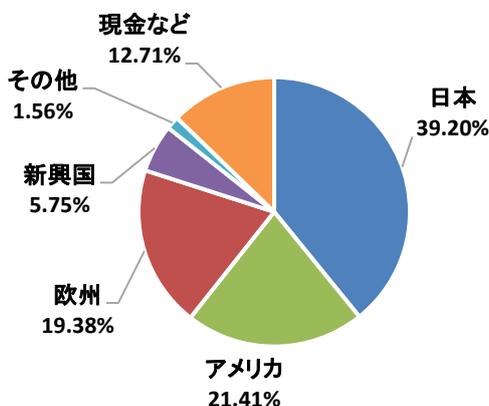


コムジェスト世界	0.51%
シンプレックス中計	-1.06%
SBIリバイブ	-2.03%
コムジェストEU	3.46%
2Xideas	1.35%

### 浪花おふくろファンド概況

基準価額	31,267円	信託期間	無期限
純資産総額	1,948百万円	決算日	毎年3月3日（休業日の場合は翌営業日）
設定日	2008年4月8日	ボラティリティ（1年）	11.30%

### 資産構成比率（組入ファンド全10本）（左：国別、右：ファンド別）



### 期間別騰落率（%）

1ヵ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	10年	設定来
-0.44%	1.28%	1.45%	9.94%	31.34%	44.97%	104.12%	212.67%
					(複利年率) (7.70%)	(複利年率) (7.39%)	(複利年率) (7.01%)

### ファンドにかかわる費用

運用管理費用  
（信託報酬）

年率0.99%（税抜き0.9%）

組入れ投資信託証券も含めた実質的な負担 年率1.65±0.5%（税込/概算）

### コドモファンド・浪花おふくろファンドにかかわる共通のその他費用・手数料

信託財産に関する租税、投資対象とする投資信託証券の売買に発生する売買委託手数料及びその手数料に対する消費税相当額等の費用、外貨建資産の保管等に要する費用は、お客さまの負担として、信託財産中から実費を負担します。

設定・運用・販売は株式会社パリティアセットマネジメント／金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第2727号

※比率は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

## BRICS 時代のニッポン

### BRICS が G7 を超えた

今年1月、トランプ大統領が再任し、世界に大きな変化をもたらそうとしています。しかし、近年既に大きな変化が起きています。それは、BRICS の経済力が G7 を上回ったことです。厳密に言えば、名目 GDP（市場為替レートベース）では G7 の合計がまだ BRICS を上回っていますが、購買力平価（PPP）ベースの GDP では、BRICS の合計が G7 を上回っています。2024 年のデータによると、BRICS の世界 GDP に占める割合は約 35%、G7 は約 30% です※。

歴史的に見れば、人口の多いインドや中国を擁する BRICS 諸国は、長い間圧倒的な経済力を誇っていました。しかし、18 世紀後半の産業革命を経て、おそらく 19 世紀中頃から欧米諸国が世界経済をリードするようになりました。それが約 2 世紀ぶりに逆転し始めているのです。さらに、「グローバルサウス」と呼ばれる国々も急成長しており、これまでの白人中心の世界から、多様な人種を含む新しい世界秩序が生まれようとしています。

### BRICS の台頭による変化

BRICS の台頭は、政治・経済においてさまざまな大きな変化をもたらすと考えられます。これまでの国際経済は G7 が主導し、ルールを策定してきましたが、今後は、国際金融機関（IMF・世界銀行）や貿易協定の枠組みが再構築される可能性があります。また、ドル基軸に対して「非ドル経済圏」の拡大も進むでしょう。実際、その兆候は最近の金や仮想通貨の価格高騰にも表れています。言語でも英語だけでなく、様々な言語の活用も進むでしょう。特に昨今の翻訳や通訳ツールの目覚ましい進化はこれを促進させると思います。

また、技術分野でも、中国やインドが AI、半導体、電気自動車（EV）などで急成長しており、企業は従来の競争戦略を見直す必要があります。さらには、文化やスポーツ、そして医療の分野でも、欧米主導の流れから脱し、多様な国々からの様々な価値観が世界に広がっていくでしょう。最近、欧米で日本やアジア圏の映画が高く評価されているのも、その変化を表していると思います。

### ニッポン人はこの時代をどう生きるべきか？

日本は、明治維新以降、先進国に追いつき追い越すために努力を続けてきました。有色人種でありながら、いち早く国際連盟の常任理事国となり、第二次世界大戦後も急速に復興して世界経済をリードする立場を維持してきました。しかし、その一方で、欧米の先進的な文明を吸収することに注力するあまり、日本固有の文化や価値観を軽視してきた側面もあります。現在、BRICS の台頭により、世界のルールや価値観も従来の白人社会中心から、より多様なものへと変化しつつあります。この流れの中で、日本の伝統的な文化や価値観を徹底的に再評価すべき時が来ています。

日本が誇る「和の精神」や「自然と調和した暮らし」、また「働くことを単なる労働ではなく、“はた（周囲）を楽にする”という意識で捉える価値観」などは、これからの世界が求めるものになるでしょう。経済はもちろんですが、環境・医療・教育の分野においても、日本は日本古来の宝物を掘り起こし、新興国と共に成長する道を模索すべきです。変わりゆく世界の中で、日本本来の魅力を駆使することで、持続可能で調和のとれた世界の実現に貢献すること。それこそが、これからの日本が世界に果たすべき新しい役割だと思えます。

※ちなみにブリックスは 2023 年の BRICS 首脳会議で、新たに 6 か国の加盟が決定しましたが、アルゼンチンは加盟を辞退したため、実際の加盟国は 10 か国となっています。ただし、この GDP の計算は当初の 5 か国が基準になっています。



(株)バリミキホールディングス  
代表取締役会長  
多根 幹雄



## あいのり仲間

### 自分たちのお金を実際に運用している納得性の高いファンド



一昨年の10月下旬、長年欧州に在住している実兄と交流のある多根会長と実兄と一緒に昼食を取る機会があり、その際にパリミキアセットのセミナーへのお声がけをいただきました。それ以来、現在まで貴重で楽しい機会をいただいております。大変感謝しています。

私個人は、バブル経済崩壊やアジア駐在中の通貨危機を経験し、リーマンショック直前に購入した投資信託が価値を激減させ、長期間塩漬け状態になったこともあり、資産運用については保守的になっていました。

一般の金融機関の投資勧誘も、営業担当者本人が買っていない運用商品を、手数料を目的に営業しているように感じ、前向きになれず、実際の行動には結びついていませんでした。しかし、パリミキアセットのセミナーでファンドマネージャーの宇野さんから資産運用について非常に納得のいく話を聞き、早速当ファンドを購入させていただきました。

自社やご自身のお金を運用している「あいのりファンド」は、知見の高いファンドマネージャーを中心に、緊張感を持ってグローバルな日々の動向を見ながらポートフォリオを組んでいることが分かります。その内容も運用報告会で開示いただき、実際に組み入れを行っている海外のファンド会社から直接運用内容や将来見通しを聞けるセミナーなどの貴重な機会を通じて、経済動向や資産運用について学ぶことができます。

さらに、セミナー開催者と参加者との距離感も近く、気軽にお話しできることや、セミナー後の懇親会など、対面セミナーでの、他の投資家の皆様との交流も楽しみにしています。

私個人の楽しみとしてはワインがあり、趣味が高じて一昨年ワインエキスパートの資格を取得しました。自分の好きな領域で何か事業ができないか模索しているものの、国内外のワイナリー訪問やワイン会への参加など出費がかさみ、現時点では実際の行動には結びついていません。ワインは歴史が深く、味わいはブドウの種類、国、土地（テロワール）、その年の気候などによって異なります。有名無名にかかわらず、実際に飲めば多くの人がその味を理解でき、国籍や年齢を問わず交流の輪が広がる楽しいものです（多少お金がかかることと飲み過ぎによる二日酔いを除けば）。

パリミキアセットのセミナーは、「いかす」＝資産をどう活かすか、という人生を楽しむ非常に重要なテーマも掲げている点も大きな魅力だと思います。



小池 尚次

いつもセミナーご参加ありがとうございます。いろいろとご理解いただきありがとうございます。ワインの専門家であることは、伺ってましたが、本格的に、あちこち行かれてるんですね。シャトーの看板をもって、やっぱり満面の笑み、楽しそうですね。

「ヴィンテージになれるかもツアー」で、プロバンスに行くことになれば、ガイドお願いいたします。

磯野

# エンジェルジャパン・アセットマネジメント

## 「中小型成長株投資の意義と魅力について」

毎年恒例となりましたが、エンジェルジャパン・アセットマネジメントさんにご登壇いただきます。  
エンジェルジャパンさんが運用する3ファンド（ジェイクル、ネクストジャパン、ジェイリバイブ）は、コードモファンドと浪花おふくろファンド双方にグロースファンドの核として長期にわたり組み入れさせていただいております。  
年間約1000件（1日平均4～5件）の訪問・面談により、チームで議論の上、厳選投資を行っており、正に足で稼ぐスタイルです。ここまで愚直に幅広くチーム全員で面談調査、意思決定を行っている運用会社は珍しいと思います。  
今年に入り日本のグロース株がスッキリと上昇する状況には至っておりませんが、今後、日本株が更に注目を浴び、見直されてくればグロースへの広がり・物色は必至と考えております。  
この機会に日本のグロース銘柄のお話を聞くことは大変有意義ではないかと思っております。是非奮ってのご参加をお待ちしております。

〈東京〉

3月28日(金) 18:30～20:00

会場

参加費用等について

定員：対面【25名】 ネット中継【30名】

参加費：無料 ※交流会にご参加の場合は2,000円

パリミキアセットマネジメント 会議室

東京都中央区銀座二丁目8番4号 泰明ビル2F  
（ビル1階はカフェ・ベローチェです）  
（東京メトロ有楽町線「銀座一丁目駅」11番出口 徒歩1分）  
（東京メトロ銀座線、丸ノ内線、日比谷線「銀座駅」A13番出口 徒歩4分）



エンジェルジャパン・アセットマネジメント  
金沢 健博 氏

- ・91年：同志社大学卒業
- ・91年：山一証券入社（山一証券経済研究所配属）
- ・98年：プロミスにて広報IRを担当
- ・00年：ドイツ銀行関連運用会社の宇佐美チームにて運用助言業務開始
- ・02年：エンジェルジャパン・アセットマネジメント入社（創立メンバー）



エンジェルジャパン・アセットマネジメント  
坂東 良太 氏

- ・83年：慶應義塾大学卒業
- ・83年：安田生命保険相互会社（現明治安田生命）入社  
国際投資部門・ロンドン現地法人等を経て、98年より証券会社の投信企画部門に出向後、  
安田投信投資顧問（現明治安田アセットマネジメント）の外部委託マネージャー選定・管理を統括
- ・05年：エンジェルジャパン・アセットマネジメント入社
- ・24年：代表取締役社長就任

お知らせ

**X**で情報発信中！

@PM\_Asset



マーケットに関するコメントやセミナー情報など発信しております。  
ぜひフォローをお願いいたします！

## 確定申告についてのご案内

今年も確定申告の時期がやってきました。

昨年、弊社のファンドをご解約（ご換金）されたお客様は、下記の表をご確認ください。

お取引口座	利益が発生したお客様	損失が発生したお客様
特定口座※ (源泉徴収あり)	原則、確定申告は <b>不要</b> です。 ただし、他の株式や投資信託の損失と損益通算される方は <b>必要</b> です。	下記の手続きをされる方は、確定申告が <b>必要</b> です。
特定口座※ (源泉徴収なし)	確定申告が <b>必要</b> です。	・他の株式や投資信託の売却益、配当、分配金と損益通算される方
一般口座	確定申告が <b>必要</b> です。	・損失を翌年に繰り越される方

※特定口座でご解約（ご換金）されたお客様は、「特定口座年間取引報告書」を1月上旬に交付しました。

マイページをご登録済みのお客様にはマイページ上での交付のみとなっております。郵送をご希望のお客様は、弊社までお申し付けください。なお、税制改正に伴い、2019年4月1日以後に確定申告書等を提出する場合、「特定口座年間取引報告書」の添付書類の提出が不要となりました。

\* 申告期間は、2025年2月17日（月）～2025年3月17日（月）です。（2025年2月7日 国税庁発表時点）

\* 詳しくは、国税庁、e-taxのホームページをご覧ください。最寄りの税務署までお問い合わせください。

## 顧客カードについて

1月にお送りした顧客カードにつきまして、早速ご返送いただきました皆様、誠にありがとうございました。

頂きましたご意見ご要望にお応えできるよう、努力してまいります。

ご返送がまだのお客様におかれましては、法律に基づくお客様の状況確認事項となっておりますので、早めのご返送をお願い申し上げます。

### ファンドにかかわるリスク

当ファンドは、値動きのある国内外の株式等に投資する投資信託証券に投資しますので、基準価額はその影響を受け変動します。

投資信託は預貯金と異なり、投資元本が保証されているものではありません。投資による利益および損失は、すべて受益者（投資者）の皆様に帰属します。

基準価額の主な変動要因としては、価格変動リスク、信用リスク、流動性リスク、為替変動リスク、カントリーリスク等があります。リスクについての詳細は投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

### ファンドにかかわる費用

当社が扱う投資信託に、購入・換金手数料および信託財産留保金はありません。

### 当資料のご利用にあたっての注意事項

- 当資料は株式会社パリミキアセットマネジメントが運用するファンドの運用状況をお知らせするために作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。取得の申込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）等をお渡ししますので必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。
- 当資料に記載された過去の実績は、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料中に示された意見等は、作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
- 投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 当社でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料中に示された数値は、作成基準日現在において入手可能なデータを参照し、弊社にて計算しております。

### 毎月つみたてスケジュール

次回引落日は、**3月5日（水）**です。

3月分金額変更・中止・再開締切日・・・**2月19日（水）**

4月分新規・口座変更締切日・・・**3月3日（月）**

※毎月つみたてサービスの金額変更・中止・再開については、お電話・マイページ上（再開を除く）でも承っております。

再開につきましては、書類でのお手続きとなりますので、お電話・マイページ上・ホームページ上にて用紙をご請求ください。



株式会社パリミキアセットマネジメント  
(受付時間：平日9時～17時)

お客様専用通話料無料ダイヤル:0800-5000-968

E-mail: [support@pmam.co.jp](mailto:support@pmam.co.jp)

# PARIS MIKI ASSET MANAGEMENT